

① 虫の侵入経路や発生箇所付近に設置!

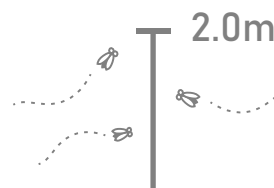
虫が侵入しやすい出入口や窓の近く、虫が発生しやすい水周りやゴミ箱の近くなどに設置します。侵入してくる虫や発生した虫を直後が捕獲しやすくなり、虫が飛び回る前に捕獲しやすくなります。



入り口や虫の発生場所付近に設置で早期捕獲!

② なるべく低い位置に設置!

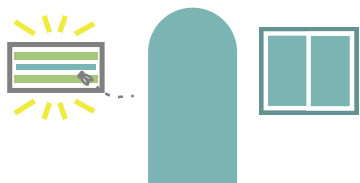
小さな虫の多くは2m以上高く飛びません。1.8~1.5m位の位置に設置することで虫を捕獲しやすくなり捕虫紙の交換もしやすくなります。



小さな虫はそんなに高くは飛べないんです

③ 捕虫器の光が外にもれないように!

光が外にもれると、外の虫まで呼び寄せてしまいます。片面誘引型などを効果的に使い、ランプの青い光が外に漏れないように設置してください。



使用場所によっては片面誘引型が効果的!

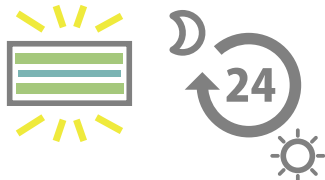
④ 異物混入のリスクがある場所のすぐ近くには設置しない

捕虫器には虫を引き寄せる効果があります。製造ラインや包装ラインの近く、調理場や客席のすぐ近くなど、異物混入のリスクがある場所のすぐ近くには設置しないようにしましょう。



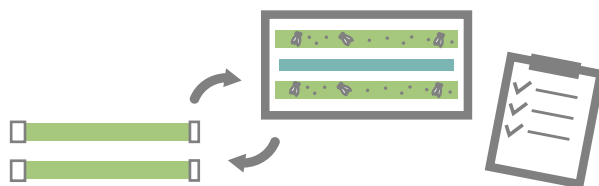
⑤ 夜間も稼働!

一般的に虫は日没後と夜明けに活動が活発になるといわれています。夜間、他の照明が消えた状態で、捕虫器だけ稼働させると一層捕獲効果があります。



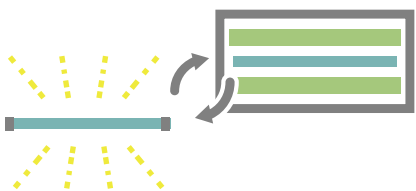
⑥ 捕虫紙は定期的に交換!

捕虫紙を定期的に交換することで、虫の量が確認でき、対策がうちやすくなります。



⑦ 捕虫器用ランプの寿命は6カ月

寿命を過ぎたランプは、青い光が出ていても紫外線の照度が低下し誘引力が下がっています。



6ヶ月毎の交換で効果的な光を維持できます。

⑧ 捕虫紙の寿命は保管で5年

使用状態でも2~3年は捕獲力が落ちないムシポンの捕虫紙は長期保管しても捕獲力が低下しません。



オススメは1か月ごとに交換して虫の発生状況をモニタリング。

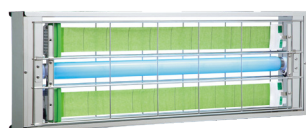
⑨ 冬場はゆっくり慎重に

捕虫紙の粘着剤は、寒い時期は硬くなり、引出しにくくなります。暖かい場所で保管していただくか、暖房器具などで温めてからゆっくり引き出してください。



⑩ 捕虫器の寿命は4万時間

内蔵している蛍光灯安定期の耐用年数は4万時間。およそ4年半です。



最大限に性能を発揮させるために4年半での交換をおすすめします。